

そうぞの風

だいごう
第6号

こうちょうしつ
校長室より



【URL】<http://www.iga.ed.jp/oyamada-e/>

たし がくりよく み 確かな学力を身につけるために

4月に6年生を対象に実施した令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が届きました。
調査結果からみえる子どもたちの学力・学習の状況、今後の取組についてお伝えします。

1 がくりよくちょうさ けっか へいきんせいとうりつ 学力調査の結果(平均正答率より)

「全国と比べて上回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して+5%以上
「全国と比べてやや上回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して+2%以上+5%未満
「全国と比べてほぼ同じである」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して±2%未満
「全国と比べてやや下回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して-2%以上-5%未満
「全国と比べて下回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して-5%以上

上記の表は、伊賀市独自の基準となります。この基準に当てはめると本校は、国語「全国と比べて下回っている」、算数「全国と比べて下回っている」という結果でした。

2 がくりよくちょうさ せつもん けっか ていぢやく ないよう ていぢやく 学力調査の設問ごとの結果より「定着している内容○」と「定着していない内容△(全国正答率との差が特に大きかったもの)」

《国語》

○文の中における主語と述語の関係をとらえる。

⇒ 本校正答率 63.3% (全国正答率 62.3%) +1.0P

△漢字を文の中で正しく使う。 問題：運動会のきょうぎ。(競技)

⇒ 本校正答率 10.0% (全国正答率 43.4%) -33.4P

△目的や状況に応じて、伝え合う内容を検討することができる。

⇒ 本校正答率 46.7% (全国正答率 63.8%) -17.1P

《算数》

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する。

⇒ 本校正答率 70.0% (全国正答率 70.0%) ±0.0P

△計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。

⇒ 本校正答率 21.3% (全国正答率 56.9%) -33.6P

△折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に合うように言葉と数を用いて記述する。

⇒ 本校正答率 13.3% (全国正答率 44.4%) -30.7P



3 児童質問紙調査結果より「抜粋」 肯定的回答を全国と比べて () は全国の割合

- ① 自分には、よいところがあると思う。 ⇒ 87.1% (84.1%) +3.0
- ② 将来の夢や目標を持っている。 ⇒ 77.4% (82.4%) -5.0
- ③ 学校に行くのは楽しいと思う。 ⇒ 93.5% (84.8%) +8.7
- ④ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ⇒ 90.3% (83.5%) +6.8
- ⑤ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりのどれくらいの時間、勉強をしていますか。(1時間以上の割合) ⇒ 29.0% (54.6%) -25.6
- ⑥ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強をしていますか。(1時間以上の割合) ⇒ 38.7% (48.6%) -9.9
- ⑦ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(2時間以上の割合) ⇒ 71.0% (49.2%) +21.8
- ⑧ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(2時間以上の割合) ⇒ 22.6% (33.8%) -11.2

4 調査結果を受けて

今回の調査の結果を学校として大変重く受け止めています。まず、学力調査の結果ですが、この厳しい状況は、なにより教職員の指導の結果であり、今後教職員がさらなる授業改善に取り組む必要があると考えています。子どもたちに「わかりやすい授業」を行い、子どもたちが「できるように支援」を行います。6年生の子どもたちについては、卒業までに定着していない内容について補充的な学習を行います。5年生以下の子どもたちについては、例えば算数の「割合」「図形」といった経年的に本校の課題になっている内容について、それまでの下学年での学習がきちんと積み上がっていくように全ての学年で見直しをはかります。漢字の学習についても小テスト等を利用して定着できるまでスモールステップで何度も練習するようにしていきます。高学年での算数の習熟度別授業や、ICT機器の活用、読書活動の推進等にも引き続き取り組みます。



児童質問紙調査では、「自分には、よいところがあると思う。」「学校に行くのは楽しいと思う。」といった質問で全国と比べて肯定的な回答が多くありがたいと思うところですが、全ての子どもたちが肯定的な回答となるように今後も学校経営に取り組めます。



最後に保護者の皆様へのお願いです。「家庭学習の時間が少ない」「スクリーンタイム(ゲーム、スマートフォン)の時間が多い」等の経年的な課題が改善されていないことが明らかになりました。学習した内容を定着させるには、家庭学習が大変重要です。引き続き、ご家庭でのご協力をお願いします。先週から取り組んでいる「生活リズムチェック」の結果についてお子さんと話し合ってください、ぜひご家庭での約束事を確認したり、お子さんを励ましてあげたりしてください。よろしくお願いします。

